

Sun StorEdge™ 6320 システム 1.0 サイト計画の手引き

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No. 817-2244-10
2003 年 6 月, Revision A

コメントの宛先: docfeedback@sun.com

Copyright 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている製品に採用されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付随する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun StorEdge, StorTools, Sun Enterprise, Sun Fire, Sun OS, Netra, および SunSolve は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions set forth in the Sun Microsystems, Inc. license agreements and as provided in DFARS 227.7202-1(a) and 227.7202-3(a) (1995), DFARS 252.227-7013(c)(1)(ii) (Oct. 1998), FAR 12.212(a) (1995), FAR 52.227-19, or FAR 52.227-14 (ALT III), as applicable.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun StorEdge 6320 System 1.0 Site Preparation Guide
Part No: 816-7877-10
Revision A



目次

サイトの準備と計画	1
設置準備ワークシート	1
顧客側の義務	3
安全性について	3
取り扱い上の注意事項	3
設置の安全要件	4
サン製品の配置	4
設備要件	4
環境仕様	5
電気および電源仕様	5
物理仕様	6
寸法	7
クリアランスと保守作業	7
ケーブルの敷設要件	7

サイトの準備と計画

このマニュアルでは、Sun StorEdge™ 6320 システムの設置要件を説明します。設置計画に際しては、このマニュアルで概説されている指針に従ってください。

サンからの出荷品に含めるすべてのコンポーネントと記憶装置システムについては、購入先にご相談ください。

製品の概要と設置手順については、『Sun StorEdge 6320 システム 1.0 設置マニュアル』を参照してください。以下の Web サイトでは、このマニュアルを始めとして、サンの広範囲のシステムマニュアルを提供しています。

<http://docs.sun.com/documentation>

このマニュアルは、以下の節で構成されています。

- 1 ページの「設置準備ワークシート」
- 3 ページの「顧客側の義務」
- 3 ページの「安全性について」
- 4 ページの「設備要件」
- 7 ページの「ケーブルの敷設要件」

設置準備ワークシート

設置準備ワークシートは、Sun StorEdge 6320 システムを正しく設置するために必要な情報を収集し、記録するためのワークシートです。このワークシートを利用して、事前にデータホストおよび Storage Service Processor とのデータと Ethernet 接続の計画を立ててください。



注意 – Sun StorEdge 6320 システムは、内部オペレーションで、IP アドレス 174.30.0.x および 174.40.0.x を使用しています。これらの IP アドレスは、Sun StorEdge 6320 システムの顧客の IP アドレスとして使用しないでください。これら (174.30.0.x および 174.40.0.x) のアドレスの 1 つがシステムへの接続に使用される場合は、LAN と Sun StorEdge 6320 システムの間に別途ネットワークアドレス変換機能が必要になります。交換機能は、Sun StorEdge 6320 システムの IP アドレスを、顧客の LAN からは見えないようにします。

注 – 設置に必要な IP アドレスの個数は、選択した構成によって異なります。サポートされる各構成に必要な IP アドレスの個数については、『Sun StorEdge 6320 システム 1.0 リファレンスおよびサービスマニュアル』を参照してください。

項目	管理ホスト	アプリケーションホスト
ホストの ID		
ホストの名前		
ホストの IP アドレス		
ドメインの名前		
HBA WWN		
HBA WWN		
ゲートウェイの IP アドレス		
OS/パッチのバージョン		
主アプリケーション		

凡例:

必須フィールド	
省略可能なフィールド	
該当なし	

顧客側の義務

顧客は、設置に影響する可能性のあるあらゆる法令や規制をサンに報告する義務があります。顧客は、設備に関するあらゆる行政規則および規制に従う責任があります。また顧客は、以下の要件に従う責任もあります。

- この仕様でカバーされているあらゆる現地、国内、および国際規則これには、消防および安全規定、建築基準法、ならびに電気規則が含まれます。
- この仕様からの逸脱がある場合はすべて文書化して、Sun Microsystems, Inc. に報告してください。

安全性について

Sun StorEdge 6320 システムの設置は、設置先の安全規定と規制に従って行ってください。『Sun StorEdge 6320 System Regulatory and Safety Compliance Manual』の事前安全対策を必ずお読みください。以下の節では、設置先の安全に関する補足情報を提供します。

- 3 ページの「取り扱い上の注意事項」
- 4 ページの「設置の安全要件」
- 4 ページの「サン製品の配置」

注 – 機器には、機械的または電氣的な改造を加えないでください。サンは、改造されたサンの製品に対する規制適合の責任を負いません。

取り扱い上の注意事項



注意 – フル構成の記憶装置システムのキャビネットの重量は、1400 ポンド (627 kg) を超えることがあります。システムの移動経路のどの部分もこの重量に耐えられることを確認してください。

移動できるように、キャビネットには車輪が付いています。キャビネットの移動、特に積み降ろしや傾斜路、コンピュータ室の高床でのキャビネットの移動に際しては、十分な作業員を確保してください。キャビネットはゆっくり慎重に移動し、キャビネット転倒の原因となる異物やケーブルが床面にないことを確認してください。



注意 – 人身事故のないよう、システムを移動する際は保護靴を履いてください。

設置の安全要件

地震が発生した場合の人身事故を最小限に抑えるため、キャビネットは必ず、設置する部屋の床から天井にまで伸びている、あるいは壁から伸びている剛構造物にしっかりと固定してください。

キャビネットは水平面に設置してください。キャビネットの底の四隅に、滑り止め処理が施された調節可能なパッドがあります。Extend these pads when the cabinet is installed to prevent the cabinet from rolling.これらのパッドは、キャビネットを水平にする目的で使用しないでください。

サン製品の配置

2 台目のキャビネットなしで Sun StorEdge 6320 システムを注文した場合は、将来のシステム拡張に備えて、2 台目のキャビネットを設置するのに十分なスペースを確保しておいてください。



注意 – サン製品の開口部は、塞いだり覆ったりしないでください。サン製品は、絶対に放熱器や熱通風装置の近くに設置しないでください。これらの指針に従わないと、過熱によってサン製品の信頼性が低下する可能性があります。

記憶装置システムのキャビネットは、正面から背面に空気が流れることによって冷却されます。キャビネット正面から空気が入り、循環して、キャビネット背面の上部と下部から排出されます。正面ドアと背面ドアの周囲に空間的な余裕を設けることで、冷却のための十分なスペースが確保されます。この余裕の具体的な仕様は、表 5 を参照してください。

設備要件

この節では、記憶装置システムの以下の設備要件について説明します。

- 5 ページの「環境仕様」
- 5 ページの「電気および電源仕様」
- 6 ページの「物理仕様」

環境仕様

表 1 設備の環境仕様

仕様	動作時	非動作時
温度	5°C ~ 35°C (華氏 41° ~ 95°) 結露なし	-40°C ~ 65°C (華氏 -40° ~ 149°) 結露なし
相対湿度	10~90% 結露なし 最大湿球温度 27° (華氏 80.6°)	93% 結露なし 最大湿球温度 38°C
高度	10,000 フィート (~3,048 km)	40,000 フィート (~12,192 km)

極端な温度になるのを避け、作業場所を清潔な状態に保ってください。表 2 に記載されている動作条件を維持してください。記憶装置システムは通常、コンピュータ室の環境に設置することによって、温度、湿度、および空気中のほこりといった環境要因を調節します。また、コンピュータ室に設置することで、火災、浸水、または建物で発生する他の危険から機器を保護できます。

表 2 設備の周囲環境仕様

環境要因	周囲温度範囲	周囲相対湿度
動作時	21°C ~ 23°C (華氏 70° ~ 73.5°)	45% ~ 50%

表 1 に示す動作環境の限界値は、すべての機能要件を満たすどうかを調べるためにシステムのテストに使用された値です。最適な動作環境としては、表 2 の動作条件を推奨します。温度や湿度が極端または極端に近い環境で長時間コンピュータ機器を動作させると、ハードウェアコンポーネントの障害発生率が大幅に増大することが判明しています。コンポーネントの障害による停止時間を最小限に抑えるために、最適な温度および湿度範囲を計画し、使用することを強く推奨します。

電気および電源仕様

すべての Sun StorEdge 6320 システムは、2 つの独立した電源を必要とします。冗長性を提供するために、各記憶装置システムのキャビネットには 2 台の電源コンディショナ (配電) が搭載されています。これはキャビネットの底部に取り付けられています。電源の冗長性を維持するために、各コンディショナは独立した電源に接続する必要があります。表 3 は、各コンディショナに必要な電源を示しています。

表 3 各キャビネットの電源仕様

仕様	定格
AC 定格電圧	AC 200 ～ 240 V
AC 電圧範囲	AC 180 ～ 264 V
周波数範囲	47 ～ 63 Hz
AC 240V 時の電流	32A
最大消費電力:	
• Sun StorEdge 6320 システム	4.2 kW
• Sun StorEdge 6320 システム (2 台目のキャビネットを装備)	8.4 kW

以下は、どのような設置先にも推奨される事項です。

- キャビネットシステムおよびデスクトップシステムのどちらも、現地、国内、または他の該当する行政規則や規制で規定されている場合は、配電盤へのあらゆる AC 主電源線および配電線を金属製の導管に収納する必要があります。配電線と配電盤 (または相当する金属製の導管) は、その両端を接地する必要があります。
- 記憶装置システムに対する電圧変動は最小限である必要があります。顧客設備で供給される電圧は、+/-5% 未満の電圧変動に維持される必要があります。
- 顧客設備では、適切なサージ保護を行う必要があります。

物理仕様

この節では、Sun StorEdge 6320 システムの物理要件をまとめています。

寸法

注 – 表 4 は、最大ハードウェア構成時の数値を示しています。

表 4 システムの物理仕様

システム	高さ	幅	奥行き	重量
Sun StorEdge 6320SL システム (単一キャビネット)	75 インチ 190.5 cm	23.9 インチ 60.7 cm	37 インチ 94 cm	1465 ポンド 665 kg
Sun StorEdge 6320SL システム (2 台目のキャビネットあり)	75 インチ 190.5 cm	47.8 インチ 121.4 cm	37 インチ 94 cm	2855 ポンド 1,295 kg
Sun StorEdge 6320 システム (単一キャビネット)	75 インチ 190.5 cm	23.9 インチ 60.7 cm	37 インチ 94 cm	1465 ポンド 665 kg
Sun StorEdge 6320 システム (2 台目のキャビネットを装備)	75 インチ 190.5 cm	47.8 インチ 121.4 cm	37 インチ 94 cm	2895 ポンド 1,314 kg

クリアランスと保守作業

保守作業によって、側面からのアクセスが必要になることがあります。具体的保守作業については、『Sun StorEdge 6320 システム 1.0 リファレンスおよびサービスマニュアル』を参照してください。

表 5 Sun StorEdge 6320 システムの空間的な余裕と保守作業

アクセス位置	必要なクリアランス
正面	48 インチ 122 cm
背面	36 インチ 92 cm
側面	36 インチ 92 cm

ケーブルの敷設要件

この節では、Sun StorEdge 6320 システムのケーブルの敷設要件を説明します。システムのケーブルを敷設するにあたっては、以下の指針に従ってください。

- 電源ケーブルやインタフェースケーブルを通路に敷設しないでください。ケーブルは、内壁や床下、天井、または保護導管に敷設してください。インタフェースケーブル (光ファイバケーブルを除く) は、モーターおよび他の磁気または無線周波妨害源から離してください。
- ケーブルの長さ制限を超えないでください。以下の表は、ケーブルの仕様と長さを示しています。

表 6 ケーブル仕様

ケーブルの種別	コネクタ	最大ケーブル長
シールド付き Ethernet 10/100BASE-T、カテゴリ 5	RJ-45	328.084 フィート (100 m)
シリアル (購入先の有資格者のみ取り扱い可能)	RJ-45	82.021 フィート (25 m)
電源 (220V)	標準	-

電源ケーブルは、Sun StorEdge 拡張キャビネットに同梱の標準ケーブルです。2 台のキャビネットを接続するケーブルは、標準ファイバチャネルケーブルです。